

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	余暇時間等を使って、入居者が楽しめるような支援ができていない。	入居者が楽しめることを見つける。 毎日、入居者が楽しめるレクリエーションを行う。	・入居者の方が楽しめるレクリエーションについて話し合い、アイデアを持ち寄る。 ・レクリエーションの時間を定める。 ・実行したこと、様子等を記録する。	6ヶ月
2	36	言葉がけや対応が時間が経つにつれて、崩れてしまう。	顧客意識を持ち行動する。	・職員一人ひとりが常に意識し行動する。 ・ミーティング時に振り返りを行う。	6ヶ月
3	38	職員側の都合や業務を優先してしまい、入居者お希望に添えないことがある。	一人ひとりに添った支援を行う。	・入居者の希望を聞く機会をつくる。 ・希望に応えられるように努める。 ・業務の効率化、優先順位を考える。	6ヶ月
4	47	薬に関する重要性や目的などを正確に理解できていない。	薬の重要性や目的について職員全員で把握する。	・薬の目的について自己学習を行う。 ・変更時の申し送り確認をきちんと行う。	6ヶ月
5	40	季節のメニューが少ない。 食事の会話が少なく。	季節のメニューをもっと多く取り入れ、季節感を味わって頂き、食事の会話も楽しむ。	・季節、行事メニュー、食材を多く取り入れる。 ・食事の会話も楽しめるように支援する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。